

# 障害をもつ双子家族の相互理解 : 障害に対する 両親の認識過程

著者	中北 裕子
発行年	2000-03-27
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10422/338">http://hdl.handle.net/10422/338</a>

## 論 文 内 容 要 旨

※整理番号	5	(ふりがな) 氏 名	なかきた ゆうこ 中北 裕子
修士論文題目	障害をもつ双子家族の相互理解 －障害に対する両親の認識過程－		
<p>キーワード：障害児、双子、家族、祖父母、相互理解</p> <p>【研究の目的】障害児をもつ親たちが子どもへの気持ちや関わりに、父親・母親相互や祖父母からどのような影響を受けているのかを明らかにする。</p> <p>【方法】(1)対象者：障害児をもつ双子の家族の会に参加し、父親、母親共に調査への協力が得られた父母 5 組である。</p> <p>(2)データ収集：平成 11 年 7 月～11 月、家庭訪問により父親、母親別々に、半構成的面接法で聞き取り調査を行った。</p> <p>【結果】概念枠組みにそって、『父親・母親自身の障害への認識』、『父親からみた母親・母親からみた父親の障害への認識』、『父親からみた祖父母・母親からみた祖父母の障害への認識』、『父親・母親自身の世間観』、『父親からみた母親・母親からみた父親の世間観』、『父親からみた祖父母・母親からみた祖父母の世間観』という 6 つの大カテゴリーが編成でき、さらに、障害への認識に関する 3 つの大カテゴリーから、「障害の発見までの経緯」、「障害の説明」、「障害の理解」、「障害があるとわかってからの心の変化」、「障害があるとわかってからの行動の変化」、「発達期待」、「療育の探求」、「養育への感情」、「将来の見通し」、「きょうだいとの関わり」、「仕事」、「周囲との関わり」、「父親・母親相互あるいは祖父母との関わり」という 13 の中カテゴリーが抽出された。世間観に関する 3 つの大カテゴリーからは、「世間の人の定義」、「障害存在の開放性」、「障害存在の閉鎖性」、「世間からの好意」、「世間からの奇怪な目」という 5 つの中カテゴリーが抽出された。</p> <p>【考察】父親・母親はお互いを、理解できていないことも多かったが、お互いに、自分の感情に影響を受けていることがわかった。父親が母親に求めるサポートは明らかにされなかったが、母親たちは、父親との対話を強く望み、より一層の情緒的サポートを求めている。一方、祖父母からは手段的サポートを受けており、母親は、障害児の母親であるという自分自身を受け入れ、自分と障害をもつ子どもを肯定的に捉える過程で、特に父方の祖父母から大きな影響を受けているとわかった。</p> <p>母親は、世間の人々を日常生活圏に属する人々の集団と捉え、その他の人々については、特別な思いをもっていないということが明らかになった。</p> <p>【総括】障害児をもつ父親・母親は、お互いに影響を受けたり、サポートを求めたりしているが、相互理解は十分できていないことが多かった。今回の調査は、5 組の父母の聞き取り調査であったため、障害児をもつ家族の全体像の把握までには至っていない。今後は、障害児をもつ父親・母親が相互理解を深めるような働きかけのために、対象数を増やし、家族形態を考慮した継続的な調査が必要であると考えます。</p>			

- (備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1200 字以内)  
2. ※印の欄には記入しないこと。